

| 質 問 事 項      | 質 問 の 要 旨                |
|--------------|--------------------------|
| 1 遠地津波の対応と課題 | 7月30日に発生したロシアカムチャツカ半島付近  |
|              | を震源とする地震で、太平洋側などに出た津波注意  |
|              | 報は津波警報へと切り替わりました。町内ではイベ  |
|              | ントが開催され、来町者が多く見られましたが、混  |
|              | 乱も少なく高台避難が進められたと感じています。  |
|              | 東北大学災害科学国際研究所の担当者によると、   |
|              | 遠地津波は周期が比較的長く水面変化もゆっくりで  |
|              | はあるが、津波のエネルギーは大きく、流れが速く  |
|              | なり河川の逆流や船舶を押し流す力となるとのこと  |
|              | です。幸いにも町内における被害はないものの、今  |
|              | 後の対応策や現実的課題について、伺います。    |
|              | (1) 町内の各避難所における避難者の動向、総数 |
|              | と備蓄品の調達は万全だったのか伺います。     |
|              | (2) 遠地津波は県内各地で観測されていますが、 |
|              | その到達時間や津波の高さは様々であり、状況    |
|              | 変化に合わせた対応が求められます。夜間や土    |
|              | 日における職員の当直を廃止した後は、どのよ    |
|              | うに対応するのか伺います。            |
|              | (3) 賛否両論ありますが、船舶の沖出しの状況に |
|              | ついて伺います。                 |
|              | (質問の相手：町長、担当課長)          |